

帰国・外国人児童生徒受入れ手順シート (大分県版)

	学校がすること	本人・保護者がすること
①編入手続き日	・初面談日の決定 ・学校教育課へ連絡 ・必要に応じて通訳者を依頼 (初面談日・初登校日の分等)	
②初面談日まで	・必要な書類の準備 ・説明に使う学習予定表や具体物などの準備 【「学校生活ハンドブック」(大分県)】	
③初面談日 (学校と市町村教育委員会が連携して行うのが望ましい) →面談内容や配慮事項を全教職員で共通理解する。	・学校生活についての説明 ・聞き取りによるパーソナルシートの記入 ・記入が必要な書類の説明 ・初登校日の持ち物の連絡 ・登下校の注意事項の確認 ・初登校日の給食の手配 ・編入学年と学級の決定 ・教科書の手配 ・購入物品の手配 ・初登校日に必要な物の準備	・保護者と本人が来校 ・必要な書類の記入 ・必要な物品の購入 ・銀行の口座開設手続き ・初登校日の持ち物準備 ・通学路の確認
<教室での準備> ・「新しい友だちがやってきて嬉しい」という気持ちで迎えられるようにしましょう。 ・学級の子どもには、名前・出身国・日本語の理解具合などを伝えましょう。 ・みんなの話す日本語や行動がお手本になることを伝えましょう。 ・その子の国の母語の「こんにちは」というあいさつをみんなで練習するのも良いでしょう。		
④初登校日	・受入れ学級での準備 ・学校の案内と生活の説明 ・給食への配慮 【聞き取りや観察により、学力や日本語能力の把握に努める(継続的に行う)】	・本人だけ登校(保護者同伴も可) ・教室の確認 ・机やロッカーの確認 ・学習予定表の見方の確認 ・通学路の確認
⑤2日目	・朝の準備方法やロッカーなどの確認 ・学校生活での様子の把握	・朝の準備方法などの確認 ・日本語学習開始(日本語能力に応じて形式や支援方法を工夫) ※1
1週間後	・1週間の様子の把握 ・学校からの連絡事項の伝達 ・母語で話す大切さを保護者に伝える	・日本語学習(個人の能力に応じて形式や支援方法を工夫) ・家庭内での継続的な母語使用
約1ヶ月後	・1ヶ月の様子の把握 ・学校からの連絡事項の伝達 ・母語で話す大切さを保護者に伝える	・日本語学習(個人の能力に応じて形式や支援方法を工夫) ・家庭内での継続的な母語使用

日本語学習※1 「帰国・外国人児童生徒受入れマニュアル」を参照の上、児童生徒の日本語能力に応